

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No. 165

2013.3

目次 ■巻頭言 ■図書館ギャラリー企画展報告 ■図書館利用学生モニター活動報告 ■教員等著作寄贈図書一覧

■図書館の動き ■図書館開館日程

巻頭言

利用する図書館から、 参加する図書館へ



館長 高松 良幸

新たに静岡大学のメンバーに入られた皆さん、おめでとうございます。また、日頃から静岡大学附属図書館をご利用いただいている皆さん、これからもよろしくお願いします。

近年の情報通信技術の急速な普及により、従来の本や雑誌などの内容は、パソコンや携帯電話、スマートフォン、電子書籍専用の端末などで閲覧することが多くなりました。大学においては、理工系を中心とした分野で、研究論文は電子ジャーナル、各種研究情報はデジタル・データベースなどでやりとりされることが一般化しつつあります。附属図書館は、これら電子化資料の学内における運用管理を手掛けており、その利用は図書館内だけではなく、大学内の各所からでも可能になっています。また、

一部の電子資料は学外からもアクセスできます。

それでは、本や雑誌を閲覧する場としての図書館の機能は、もう不要でしょうか？いいえ、決してそんなことはありません。印刷物のみの形で発表される本や雑誌は、現在も非常に多いです。過去に出版された図書の中で電子資料化が実行されているものは、決して多くはありません。さまざまな情報を集めて研究や学習を進めていくためには、従来型の図書と、各種電子資料をともに利用していくことが不可欠です。附属図書館は、静岡大学で学び、研究する人々に対して、印刷物の図書と電子資料などの各種媒体のベスト・ミックスにより、教育・研究のための知的情報を提供していきます。

さて、図書館というと、「静かにしなければならぬ場所」というイメージをお持ちではないでしょうか？もちろん、本を読む人、自習する人などに迷惑をかけないように、また自らにもそんな迷惑がかからないように、図書館においては、静粛が重要なマナーであることは当然です。しかし、このような図書館のイメージは、「図書館は堅苦しいな」、「敷居が高いな」という感覚を多くの人に抱かせるのではないのでしょうか？

附属図書館静岡本館には、ハーベスト・ルームというスペースがあります。この部屋では、図書館の豊富な資料を手許に、グループ学習や少人数の演習授業などを行うことができます。もちろん大声はだめですが、自由に利用者同士が会話することも可能です。同様のスペースは、一昨年度の改装で、浜松分館にも設置されまし

た。せっかく図書館で入手した知的な情報、それをタネにさまざまな人々と意見を交わしていただければと思います。同時に、図書館が、静岡大学のメンバーにとっての出会いと交流の場であることを目指したものでもあります。

もちろん、静かに本を閲覧したい、自習したい人たちのためのスペースとして、閲覧室のほか、個室ブースなども用意しています。図書館利用の内容や方法に応じて、図書館のさまざまな機能を使い分けてみて下さい。図書館員（ライブラリアン）は、所蔵する図書や各種資料のことだけではなく、図書館のさまざまな機能についても、相談に応じ、アドバイスをしてくれます。

また、静岡本館の玄関向かって左手には、ギャラリー・スペースがあります。学生や教職員の研究成果や、美術作品などの発表の場として使用されています。さまざまな展示活動をとおして、静岡大学のメンバーが交流する場となればと考えています。興味のある企画展があれば、是非のぞいてみて下さい。また、展示のご希望があれば、図書館に申し込んでください。

ここであげた例はごく一部ですが、附属図書館は、単に図書を閲覧したり、自習するという場所から、人々の知的な出会い、知的な交流の場へという脱皮を目指しています。さまざまな知的情報をタネに、人々が質問し答える、論議する、思考を交換するなどというコミュニケーションがあつて、はじめて知の深化が生まれるのではないのでしょうか。

ただ、図書館におけるコミュニケーションは、そのための場や機能があるだけでは成立しません。その場や機能を利用する人がいなければ成立しないのです。したがって、この場や機能の利用を、多くの静岡大学メンバーの皆さんにぜひお願いしたいと思います。

あわせて、皆さんにお願いがあります。ここで紹介した図書館の知的情報提供機能や、コミュニケーション機能などの進化のためには、図書館を利用する人々の参加と協力が必要です。附属図書館では、学生の皆さんから図書館で購入してほしい本のリクエストを受け付ける機会を設けています。また、図書館の改善に関する問題提起やご意見なども、ライブラリアンの方々に是非お伝えください。投書、口頭など形式は問いません。皆さん方のご意見が、図書館の改善に役立つのです。

もう一つ、附属図書館には学生モニターという制度があります。学生の皆さんの中で、本や図書館が好き、関心があるなどという方々に参加してもらい、図書館の選書や運営に関して、ライブラリアンの方々と意見を交換していただく他、図書館運営のサポートや読書にまつわるさまざまな行事の運営なども行ってもらっています。たとえば、街の書店で図書館が購入する本を選定する選書ツアー、夏期における図書館のグリーン・カーテン設置、大学祭（静大フェスタ）などでの展示、好きな本を5分間で紹介して、投票でその書評の優劣を競うビブリオ・バトルへの参加などの活動に、熱心に取り組んでもらっています。静岡本館・浜松分館それぞれに学生モニターが組織されていますので、両キャンパスの多くの皆さんの参加をお待ちしています。

最後になりますが、浜松分館では、今年度、大規模な改築が予定されています。この工事によって、浜松分館は、面積、蔵書数とも大幅な拡大が見込まれ、あわせてギャラリーの設置や会話可能スペースの拡大など、人々の出会いと交流の機能も充実します。

工事中ご迷惑をおかけしますが、来年完成予定の浜松分館（Student's PORT）にご期待下さい。

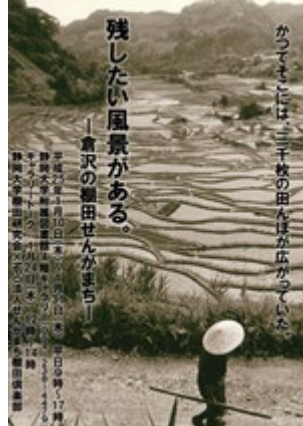
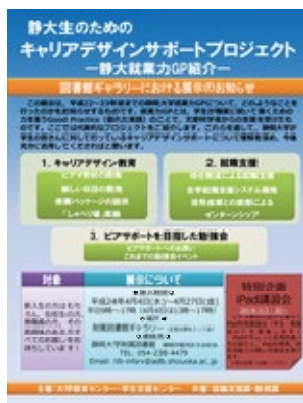


・静岡本館ハーベストルームで活動する学生モニター

【平成 24 年度 図書館ギャラリー企画展報告】

平成 24 年度の 1 年間に、静岡本館ギャラリーで、さまざまな企画展を開催いただきました。ご出展いただいた方やご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。

	開催期間	企画展名 (gallery talk or workshop)	主催
第 1 回	2012 年 4/4～4/27	静大生のためのキャリアデザインサポート プロジェクト (4/26)	大学教育センター・学生支援 センター
第 2 回	5/8～5/25	さつき ～書日和～ (5/11,5/18)	教育学部書文化専攻
第 3 回	6/4～6/22	「まだ見ぬ世界、あります。」 (6/14)	山岳部・ワンダーフォーゲル部
第 4 回	9/24～10/5	海の力と三保半島	理学部三重野研究室
第 5 回	10/15～11/9	美楽展 -美術を楽しむ人の個展- (11/9)	教育学部美術教育専修 学生
第 6 回	12/3～12/21	御前崎なう ～フィールドワークから知る原発のある町の今～	人文社会科学部 文化人類学コース
第 7 回	2013 年 1/10～1/31	残したい風景がある ー倉沢の棚田せんがまちー (1/24)	棚田研究会・NPO 法人せんがまち 棚田倶楽部
第 8 回	2/6～2/28	美術科 3 年 2 人の絵画展 「かさねいろ -Color harmony-」	教育学部美術デザイン専攻 学生



【図書館利用学生モニター活動報告】

利用サービス係

静岡大学附属図書館では、図書館利用学生モニター（以下モニター）という学生ボランティアが活動してくれています。図書館の運営について学生の立場から助言してくれるだけでなく、さまざまなボランティア活動で、図書館を支えています。そんなモニターの平成24年度1年間の活動をご紹介します。

【企画展示】

面白い辞書、辞典類や静岡に関する本、自分たちが選んだ本（次項参照）の展示を行ってくれました。ポップの紹介文を読んで、その本を手にとった方も多いでしょう。



【選書ツアー】

図書館に受け入れる本をモニターが選ぶ、モニター選書。静岡、浜松のモニターが市内の書店にでかけて、『独習者のための理系大学数学』から『三匹のおっさん ふたたび』まで、さまざまな本を選んでくれました。企画展示の後は、各館の開架に配架されます。



【図書館フェスタ 2012】

11月17日、18日の2日間、大学祭およびキャンパスフェスタ in 静岡にあわせて、ブックカバーづくりのワークショップや、静岡関係の図書の企画展示、モニター活動のパネル展示を行ってくれました。さまざまな図柄の布でオリジナルブックカバーを作るワークショップは好評で、早々に材料切れになってしまいました。



【緑のカーテン】

少しでも夏の暑さ対策になればと静岡本館、浜松分館とも初夏に緑のカーテンの設置をしてくれています。台風被害で静岡はやや残念な格好になってしまいましたが、秋まで涼しさを演出してくれました。



【ライブラリー・ツアー】

4～5 月に新入生向けの図書館案内をしてくれました。さまざまな資料の場所や、新入生セミナーの図書館案内では十分時間をとって説明できない自動貸出返却装置の操作など、きめこまかに説明してくれています。この案内がきっかけでモニターに参加してくれた学生もいます。



【七夕飾り】

浜松分館では、7 月に七夕の飾り付けをしてくれました。同時期には緑のカーテンが設置され、ウッドデッキでは情報学部吉田寛研究室によるカフェ運営の実証実験が行われるなど、華やいだ雰囲気でした。



【モニター会議】

静岡、浜松とも 12 月 13 日にモニター会議を行いました。館長、分館長との話し合いの場です。図書館から現状や今後の計画をお話し、利用者としての提言、要望等をいただきました。ハーベストルームの設備の改善など、いただいた意見につきましては対応を検討していきます。昨年度に要望があった静岡本館の網戸設置は今年度に対応できました。

【外へ】

モニターのさまざまな活動についての発信も積極的に行ってくれました。10 月 29 日に静岡県図書館大会で事例報告に立ちました。同じく事例報告を行った静岡理工科大学の図書館コンシェルジェの方々とは、その後図書館フェスタ 2012 でも交流を深めています。11 月 20～22 日に横浜で開かれた図書館総合展のポスターセッションへも参加しました。

1 月には静岡、浜松のモニターが連れ立って「図書館における、学生による、学生のためのサポート活動」をテーマに立教大学、東京女子大学の図書館へ伺い、お話を聞かせていただきました。今後のボランティア活動についてのヒントが得られたようです。

以上、1 年を通して多彩な活動をしていただきました。

平成25年度のモニター募集も始まります。ご興味のある方、気軽に各館のカウンターでお申し出ください。

～教員等著作寄贈図書一覧～

このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。(各館五十音順) (平成 25 年 2 月 28 日現在)

●本館受入

◇大野旭 (人文社会学部)

- ・内モンゴル自治区の文化大革命 [風響社] <著者>
静・書庫 【312. 227/Y72/4】
- ・チベットの文化大革命 [風響社] <監訳>
静・書庫 【222. 9/G61】

◇黒田友紀 (教育学部)

- ・現代アメリカの教育アセスメント行政の展開
[東信堂] <共著> 静・書庫 【372. 53/G34】

◇小西潤子 (教育学部)

- ・ザ・茶歌 [ザ・茶歌実行委員会] <事務局長>
静・書庫 【767. 5/Z1】
- ・技を媒介とした学びに熱中する子どもの育成プログラム 2006 年より 2012 年 (5 冊)
[静岡大学教育学部] <プロジェクト代表・編著>
静・開架 【375/W49/2006-2012】

◇澤田治美 (元教育学部)

- ・世界の文字の歴史文化図鑑 [柊風舎] <監修>
静・書庫 【801. 1/C58】

◇徳元俊伸 (理学部)

- ・New impact on protein modifications in the regulation of reproductive system
[Research Signpost] <editor>
静・本館 【491. 35/T038】

◇富田涼都 (農学部)

- ・環境と社会 [人文書院] <執筆>
静・書庫 【519/N83】

◇袴田光康 (人文社会科学部)

- ・源氏物語を考える [武蔵野書院] <編著>
静・開架 【913. 36/A38】
- ・源氏物語の礎 [青簡舎] <執筆>
静・開架 【913. 36/H61】
- ・源氏物語の史的回路 [おうふう] <著者>
静・開架 【913. 36/H17】

◇服部義弘 (人文社会科学部)

- ・言語学入門 (朝倉日英対照言語学シリーズ)
[朝倉書店] <監修> 静・開架 【801. 09/A85/1】
- ・音声学 (朝倉日英対照言語学シリーズ)
[朝倉書店] <監修> 静・開架 【801. 09/A85/2】
- ・統語論 (朝倉日英対照言語学シリーズ)
[朝倉書店] <監修> 静・開架 【801. 09/A85/5】
- ・意味論 (朝倉日英対照言語学シリーズ)
[朝倉書店] <監修> 静・開架 【801. 09/A85/6】

- ・語用論 (朝倉日英対照言語学シリーズ)

[朝倉書店] <監修> 静・開架 【801. 09/A85/7】

◇藤井基貴 (教育学部)

- ・郷土資料づくりからはじめる道徳授業
[藤井基貴] <編著> 静・書庫 【375. 35/F57/1】
- ・「防災道徳」授業の開発 [藤井基貴] <編著>
静・書庫 【375. 35/F57/2】

◇増沢武弘 (理学部)

- ・富士山
[静岡県くらし・環境部環境局自然保護課] <編著>
静・書庫 【450. 915/MA69】

◇松本繁樹 (名誉教授)

- ・ソバ・ヒエ・イモ・キヌサヤ豌豆の焼畑栽培とその食法・食文化をめぐって
[静岡新聞社] <著者> 静・書庫 【612. 1/MA81/2】
- ・中国地方にはなぜ焼畑が少なかったのか
[静岡新聞社] <著者> 静・書庫 【612. 1/MA81/3】

◇村松真一 (名誉教授)

- ・詩集耳を澄ますものたち他 [沖積舎] <訳者>
静・書庫 【931/D55】

◇山下薫子 (元教員)

- ・園田高弘研究 [東京芸術大学音楽部] <著者>
静・書庫 【762. 1/S045Y】

◇山下隆之 (人文社会科学部)

- ・応用経済学 [勁草書房] <執筆>
静・書庫 【333. 04/SA28】

●分館受入

※ 浜松開架=資料紹介コーナー/教員著作の本
(カウンタ前)に展示中

◇大坪順次 (工学部)

- ・Semiconductor lasers [Springer] <著者>
浜・開架 【549. 95/087】

◇河合学 (教育学部)

- ・Volleypedia=バレーペディア [日本文化出版]
<編集委員> 浜・開架 【783. 2/N71】

◇小西潤子 (教育学部)

- ・小笠原学ことはじめ [南方新社] <執筆>
浜・開架 【213. 6/022】

◇前田恭伸 (工学部)

- ・リスクの社会心理学 [有斐閣] <執筆>
浜・開架 【361. 4/N44】

◇山崎保寿 (教育学部)

- ・養成・研修統合型の教職支援システム構築のための基礎調査 <静岡大学大学院教育学研究科教育

実践高度化専攻) [編集]

浜・開架 【374.3/Y85】

◇渡辺尚 (創造科学技術大学院)

・アンテナの指向性を利用するユビキタスインフラストラクチャに関する実証的発展研究

[渡辺尚] <著者> 浜・開架 【547.53/W46】

◇情報基盤センター

・BCPを支えるクラウド情報基盤 [ITSC 静岡学術出版事業部] <著者> 浜・開架 【007.3/KU57】

●本館・分館共通受入

※ 浜松開架=資料紹介コーナー/教員著作の本
(カウンタ前)に展示中

◇大野旭 (人文社会科学部)

・毒草とされた民族自決の理論 [風響社] <編者>
静・書庫/浜・開架※ 【312.227/Y72/4】

◇渋谷かさね (大学院教育学研究科)

・成人教育者の能力開発 [鳳書房] <著者>
静・書庫/浜・開架※ 【379/SH21】

◇野方宏 (人文社会科学部)

・観光の活性化と地域振興 [新評論] <編者>
静・書庫/浜・開架※ 【689.4/N93】
・図説京丹後市の歴史 [京丹後市役所] <執筆>
静・書庫/浜・開架※ 【216.2/KY6】

◇原沢伊都夫 (国際交流センター)

・日本人のための日本語文法入門 [講談社] <著者>
静・書庫 【081/K019/S2173】
浜・開架※ 【815/H32】

◇吉村仁 (創造科学技術大学院)

・なぜ男は女より多く産まれるのか
[筑摩書房] <著者>
静・開架 【467.5/Y91/S】
浜・開架※ 【467.5/Y91】

図書館の動き

平成 24 年度第 2 回附属図書館委員会

<平成 24 年 8 月 1 日 (水)>

○審議事項

1. 平成 23 年度附属図書館経費決算について
2. 平成 24 年度附属図書館経費予算について
3. 平成 24 年度学生用図書購入費の配分について
4. 図書の不用決定について

○報告事項

1. 「学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定書」の締結について
2. 大学間連携共同教育推進事業の申請について

3. 附属図書館利用状況について

4. 平成 24 年度図書館利用セミナー実施報告について

5. 研究室貸出図書の点検予定について

平成 24 年度第 3 回附属図書館委員会

<平成 24 年 12 月 11 日 (火)>

○審議事項

1. 附属図書館開館に関するアンケート調査結果及び利用状況について

2. 不用候補図書の決定について

○報告事項

1. 電子ジャーナル等の契約状況について

2. SCOAP3 について

3. 平成 26 年度施設整備の要求に向けて

4. 学長裁量経費「教育研究推進特別経費」図書館を活用した学修支援の推進について

5. 平成 24 年度附属図書館利用セミナー等年間実施報告について

6. 学位規則の改正案について

7. その他

(1) 平成 25 年度附属図書館委員会委員の選出について

(2) 図書館長、浜松分館長の適任者の推薦について

(3) 自己評価の進捗状況について

◆人事異動

平成 24 年 3 月 31 日付

南須原正純 [学術情報部長→退職]

滝田公一 [図書館情報課副課長→定年退職]

平成 24 年 4 月 1 日付

溝口浩和 [文部科学省大臣官房政策課情報化推進室室長補佐→学術情報部長]

鶴田泰明 [学生生活課副課長→図書館情報課副課長]

江口敏一 [雑誌情報係主任→図書情報係長]

真中 進 [電子情報係長→利用サービス係長]

渡邊貴子 [図書情報係長→レファレンス係長]

名波一明 [レファレンス係長→分館資料係長]

鈴木ゆかり [調達管理課第二係員→分館資料係員]

森部圭亮 [分館資料係員→雑誌情報係員]

平成 24 年 7 月 1 日付

杉山智章 [電子情報係員→電子情報係主任]

平成 24 年 8 月 1 日付

村上真佐子 [分館資料係員→利用サービス係員]

図書館開館日程〔2013年4月～2013年9月〕

	9:00～22:00		10:00～17:00
	10:00～19:00		9:00～17:00
	9:00～21:00		休館日

静岡本館開館日程

※開館日・開館時間は変更することがあります。

臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2013年4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

浜松分館開館日程

※開館日・開館時間は変更することがあります。

臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2013年4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第165号 (平成25年3月22日発行)

発行所 静岡大学附属図書館

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp>

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL.054-238-4473 Fax.054-238-5408 (再生紙使用)

